

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5760m付近の強風軸対応の前線が、華南～日本の南～日本のはるか東にのびており、前線上の低気圧が九州の西を東進。西日本と南西諸島では、広い範囲で雨が降っている。
- ② 500hPa 5580～5640mのトラフが中国東北区付近を東進。
- ③ 上層寒冷渦直下の低気圧がオホーツク海にほとんど停滞。低気圧を波源とするうねりの影響で、北海道オホーツク海側では波の高い所がある。
- ④ 大型で非常に強い勢力の台風第4号が、マリアナ諸島をゆっくり北北西進。台風からのうねりが到達し、衛星解析では小笠原近海で波の高まりがみられる。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は16日にかけて日本の南を通って日本の東に進み、深まりながら東進する1項②のトラフと対応して発達する。上層トラフの影響で西～東日本と東北地方に降水が広がり、南西諸島や伊豆諸島では低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所もある。南西諸島では15日は、伊豆諸島では16日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ② 17日にかけて、高気圧が中国東北区付近から北日本を通って日本の東に移動する。2項①の前線や低気圧と、高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて波が高くなりしける所がある。また、北海道オホーツク海側では15日は、1項③のうねりの影響で波の高い所がある。北～西日本では17日にかけて、強風や高波に注意。
- ③ 1項④の台風第4号は、マリアナ諸島付近を北上し、17日は強い勢力で小笠原近海を北北東へ進む。台風からのうねりの影響で波が高くなって大しけとなる所があり、強い風の吹く所もある。小笠原諸島では17日は、高波に警戒し、強風に注意。東～西日本では17日にかけて、北日本と南西諸島では16～17日は、高波に注意。
- ④ 16～17日は、500hPa 5760m付近の強風軸対応の前線を伴う低気圧が、華中から東シナ海に進む。上層トラフとの対応が良くないため、低気圧はあまり発達しないが、南西諸島では大気の状態が不安定となる可能性があるため留意。
- ⑤ 全国的に日中は昇温するため、北～東日本の多雪地では17日にかけて、なだれや融雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項

- ①の日本の東に進む低気圧や前線の予想は不確実性がある。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島4、その他太平洋側を中心とする広い範囲で3m。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。